

# 第1回東郷町自治基本条例検証会議 会議録

## 1 日 時

令和5年8月24日（木）午後2時から午後3時まで

## 2 場 所

東郷町役場3階 政策審議会室

## 3 出 席 者

座長 神頭 広好

委員 磯村 敏文

委員 大黒 友加里

委員 近藤 悠月

委員 村井 孝輔

委員 山田 美登

## 4 事 務 局

企画政策部長

企画情報課長

企画情報課長補佐

企画調整係主事

## 5 議 題

- (1) 自治基本条例に掲げる理念と制度に基づく取組状況について
- (2) 自治基本条例に対する町民意識について

### 【事務局】

定刻となりましたので、ただいまから第1回東郷町自治基本条例検証会議を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます企画情報課長の磯村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして企画政策部長の石川よりご挨拶申し上げます。

### 【事務局】

企画政策部長の石川でございます。

神頭座長はじめ委員の皆様におかれましては、お忙しい中、東郷町自治基本条例検証会議委員を承諾していただき、また、本日の会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本町のまちづくりの基本となるルールを定めた東郷町自治基本条例は、平成25年に制定、平成26年1月に施行いたしました。

本日、紫色のパンフレットを配布させていただいております。このパンフレットの一番後ろのページには東郷町自治基本条例を掲載しております。

条例の第17条では、「町は、5年を超えない期間ごとに、この条例における町民の思い及びその時点の社会情勢に照らし、並びにこれを検証し、その結果に基づき見直しが必要なときは、これを行います。」と規定しております。

この規定に基づき、前回検証を行った平成30年から5年目となる本年に、条例の内容が今の時代に適切に合っているか、社会情勢や本町を取り巻く状況が大きく変わっていないかといったことについて検証するため、皆様のお立場、ご見地からご意見を拝聴したいと考え、開催させていただくものです。

また、この会議では、最終的には、委員の皆さまからご意見を頂戴しながら、「条例の見直しに関する方針」として町の考えをまとめさせていただき、公表していきたいと考えております。

皆様のご意見を頂戴しつつ、まちづくりの理念が浸透していくことで、より生きた条例となるよう、行政のみならず、町民の皆さまや議会とともに協力して進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 【事務局】

では、次に本日の会議にご参加いただきます委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

まず、座長につきましては、東郷町自治基本条例検証会議設置要綱第3条の規定により、町長が指名するものとしておりますので、前回の検証の際にも委員としてご尽力いただきました神頭様をお願いしております。

それでは、順にご紹介させていただきますので、その際には皆さま一言ずつご挨拶をお願いいたします。

(各委員の紹介及び委員から一言)

#### 【事務局】

会議に先立ちまして、資料等の確認をさせていただきます。

お手元に本日の会議資料及び委嘱状、そして、参考資料として自治基本条例の策定時に作成したパンフレットを配付させていただいております。よろしいでしょうか。

また、本会議の委員名簿及び議事内容につきましては、ホームページ等で公開させていただきますので、あらかじめご承知おきいただきますよう併せてお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。進行につきましては、本会議の設置要綱第3条に基づきまして、座長をお願いしたいと思います。神頭座長よろしく申し上げます。

#### 【座長】

よろしくをお願いいたします。

まず、本日皆さまにお集まりいただいたのは、条例が平成25年6月に制定されまして、平成26年に施行されております。そして、今年で施行からほぼ10年目を迎えるということで、その間、社会の情勢であったり環境であったり、もちろんコロナもそうですが、変化がございました。

10年前に制定されたこの条例が今も生きているわけですが、そういった社会の変化も見つつ、この条例に係る取組みについて確認をしながら、内容や方向性についてここで忌憚のない意見を出して、良いものを作っていければと考えております。

皆さんには、一通り条例に目を通していただけているかと思いますが、こうした理念条例というものは、作って終わりではなく、町民の方々にしっかりと浸透していくことが大変重要となっております。

それでは、次第に沿って議事を進めさせていただきます。

議題(1)として「東郷町自治基本条例に掲げる理念と制度に基づく取組状況について」です。

詳細について、事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局】

(資料に沿って説明)

**【座長】**

ありがとうございました。事務局からこれまでの進捗状況の説明がありまして、内容を確認いただけたかと思いますが、何かご意見やご質問はありますでしょうか。

ご質問、感想を順に一言ずつお願いします。

**【委員】**

私は東郷町に 72 年住んでいますが、東郷町も変わってきたかなと思います。住民同士の横のつながりができるようなことがあればいいなと思います。

**【座長】**

では、次の方、お願いします。思ったこと、何でも結構です。

**【委員】**

色々取組をしていることを初めて知りました。

**【委員】**

ここまできちんと自治基本条例を読んだことがなかったので、今回まちづくりについて考えるすごくいい機会を頂けたと思っています。情報発信というところで、自分の周りの人に聞くと、ホームページ、広報、LINE、Instagram、動画と色々やってくださってはいると思いますが、あんまり周知されていないというのが、町に住んでいる者の実感としてあります。若い方に移住していただくとなると、どうしても SNS を大事にしていかなきゃいけないのではないかなと思います。子どもたちはそういうものしか見ないので、若い世代の方などになるべく届くような形をつくっていただけると、こういった自治基本条例に基づいたまちづくりを町民主体でやっていけるのではないかと思いました。

**【委員】**

SNS の動画をもっと発信していくというのが、若者の層が行きたいな、住みたいなと思うことにつながると思います。今の東郷町は Instagram で投稿は行っていると思いますが、最近の SNS だと縦型動画が流行っていて、縦型動画を使うとかなり再生数が伸びると言われています。東郷町でもそういった動画を今後積極的に使うようにしたりだとか、もっと発信する媒体を増やしたりすると、もしかしたら 10 代、20 代の方が東郷町に住みたいと思ってもらえたり、お母さん世代の方が、子育てのこういう施策があるんだと知ってもらえて移住しても

らえるなど、そういう可能性が高まるのではないかと思います。

#### 【委員】

SNS に関しては、私も東郷町の公式 LINE も Instagram もフォローしていますが、Instagram はストーリーズという短い動画や写真を 24 時間だけ表示される機能があり、アップする頻度が高くないとフォローしていても挙がっていることに気が付かなかつたりすることが多いなと感じているので、うまく運用するのは難しく、コツがいるのかなと感じました。移住の面では、11 条のところでご紹介いただいた、自治会の加入申込みがホームページでできることを初めて知りました。私は自治会の事にはあまり詳しくなく、なんとなく自分よりも年の離れたご高齢の方がまちや地域のためにやってくださっているのだなというイメージで、距離を感じています。移住してきた方もどうやって入るのかとか、誰が何をされているのかとかを知らないと、移住してきた方もまちや地域に対する気持ちが近くならないのではないかと思いますので、このように町の方から、地域に関わる、自治会に加入するきっかけを作っていただいているのは良いなと思いました。

#### 【委員】

最近、東郷町の中で区画整理をされていて、新しい方が増えているように感じますが、東郷町にずっと住んでいる方が、こちらから挨拶をしてもしてもらえなかったと言ってみえた。でも、向こうからしてもらえるのを待つのではなくて、自分からすることが大事だとみんなで話をしていました。住民同士でなにかできないかなと思っている人は結構多いと思います。例えば、ちょっと声をかけるだけでちょっと距離が縮まる。こういうことも併せてやっていくのが大事ではないかと思います。私は、SNS は苦手ですが、SNS もそれはそれでよいとして、こういうものも発信出来たらよいなと思います。ほっとするようなものも大事かなと思います。

#### 【事務局】

他にも、例えば、町民参画ということで、こういう仕組みがあれば町に対して意見が言いやすいなとかあれば言っていただければと思います。今日の会議も町民参画の一端だと思いますし、知る機会がなかったとか、そういう観点でも話をしていただけるととてもありがたいです。

#### 【座長】

最近、新聞でもよく東郷町の記事が頻繁に出てくるようになったと思います。

### 【事務局】

こちらから新聞社さんへあらかじめ情報提供させてもらったりだとか、イベントなども事前に連絡をし、取材に来てもらったり、そのような取組みもさせていただいています。

### 【委員】

昔は、子どもは子ども、大人は大人、という感じでした。敬老の日に施設に子どもが訪ねてくるということがあったが、今は常時子どもと交流できる。その中で、子どもはおじいちゃんがいなくても地域の老人クラブのおじいちゃんと交流ができる、そのようなことがやれていくといいなと。ちょっと話が出たのが、若い世代を支援するという、ある時はおばあちゃんになってもらって、ある時はおじいちゃんになってもらって、ただそのときには、これとこれはルールとして守ってくださいねというのを入れながらやっていくというのかもしれない。最近地下鉄に乗っていてもみんなスマホを見ていて、その場にいるのにいないという状況が多い。それはそれで良いかもしれないが、やっぱり地域で色んな人が関わって育てられるわけであって、そのような中で、そういったことができないかなと思います。確かに便利なことも大事だけど、その中であったかいなというところがなんか伝わらないかなと、最近僕らの世代の人間はよく話をしています。

### 【委員】

今の高齢者の方は若くて元気な方が多いので、高齢者の方と子どもが遊べるようなイベントができれば、そういうふうに広げていけるのではないかなと思います。例えば、昔ながらのおもちゃで遊んでみようとか、そこから広がって、じゃあ他のこともできるかなと思いました。

### 【委員】

居場所を作ることも大事で、みんなから喜ばれるんだとかまだ自分も役に立てるなとかそういったことを感じられる居場所があるということも大事だと思います。

### 【委員】

イベント事で言うと、近くの公園で盆踊りをやっていて久しぶりに行きました。小さいお子さんたちと、盆踊りを開催してくださっている自治会の皆さんで、コロナが明けたこともあり、たくさんの方が参加していて、それを見ていて、自

分が離れていただけで、地域の交流やイベントはあったんだなと気づくことができました。夏だけではなくて、こういうイベントや取組がいろんな季節でできたらいいなと思いました。

**【座長】**

東郷町は面積が少ないので、アクセスしやすいというのがありますね。

**【委員】**

東郷町子ども議会を交流の場としてもっと拡大できないかなと以前から思っていて、今は町長に意見を提案するという形でやっていると思うのですが、これを、地域の昔から住んでいる方と若い世代の小中学生が意見を交換し合うというだけでも結構新しい意見が出てくるのではと思います。実際に小中学校でそういうことができれば良いなと思うのですが、それが難しかったら、地域交流の場として、色々な地区に分けてできればと思います。私も実際に小学校 1 年生の時から諸輪で棒の手をやっていて、小さいころから地域の方と交流することによって、今でも地域の方との関係性は続いていて、そういうことによって、小さいうちから東郷町に関心というか、携わりたいなという思いが強くなっていて、どんどん東郷町に対して理解が深まる子どもたちが育っていくのではないかなと思います。

**【座長】**

他に何か意見はありませんか。

(委員からの意見なし)

皆さまから資料 1 に対する意見を頂いたということで、ありがとうございました。

では、次に議題(2)としまして、「条例に対する町民意識について」です。

詳細については、事務局よりお願いします。

**【事務局】**

(資料に沿って説明)

**【座長】**

ありがとうございました。何かご意見、ご質問、他にこんなものも付け加えたらいいのではないかなどありましたらご自由をお願いします。

**【委員】**

15 日間の期間でアンケートをするということですが、アンケートの通知が来て、その場では受け流して、気づいたら過ぎていたということが結構あると思います。リマインドとかをされるご予定はありますか。締切りはもうすぐですよ、などのリマインダーがあると数が結構増えるのではないかと思います。インセンティブがあるのはすごくいいと思いました。

**【事務局】**

ありがとうございます。リマインドについては、やれるかやれないかで言うとやれます。なので、期限が近付いてきたときにこちらが満足する回答数が得られているかにもよるとは思いますが、ちょっと足りないなと思ったときにはリマインドさせていただくかなと思います。リマインドさせていただいたときには、皆さまからも参加していただけるような働きかけをしていただければ嬉しいです。

**【委員】**

自分が心配なのではないかと思います。

**【座長】**

他にこんな項目をつけたらいいのではないかとありますか。

**【委員】**

問3ですが、町政に関する情報をどのような媒体から得ていますかという内容ですが、町政に関しての関心・意欲が自分たちの世代はそもそもないという人が多いと思います。どのように得ていますか、と聞かれても、そもそも得ていないという人もいたりして、自分は家族つながりで広報紙を見たりはしますが、自分の方からホームページや回覧板を見る機会があんまりないので、特に一人暮らしをしている間は、本当に東郷町との関わりというか、知ることがなかったので、この質問の前に、別で質問を作るほどでもないかもしれないですが、あまり関心を持つことができていないという項目があってもいいのではないかなと思いました。

**【事務局】**

では、「情報を得ている媒体はない」という選択肢があってもいいのではないかなという感じですかすね。



## 【委員】

極端かもしれませんが。

あとは、LINE でアンケートを取ることになると思うのですが、回答者がちょっと偏ってくるのではないかなと思います。LINE の公式アカウントをチェックする習慣がない人の方が、私の周りでは多いので、どちらかという、普段見るのは Instagram とか Twitter とかで、LINE は連絡用だけという方も多いので、東郷町の LINE 公式アカウントを登録している人が若い世代にあんまりいないかもしれないという心配があります。9月1日からなので、もし、できたらなんですけど、Instagram の公式アカウントなどでも回答できるようにすると、もう少しサンプルが幅広く取れるのではないかなと思いました。

## 【事務局】

Instagram でのアンケートというのは機能的に有していないと思うので、できないかなと思います。若い世代というと確かに LINE の公式アカウントを登録されている方は、何歳代という年齢の設定ができたりするのですが、その設定していただいている方の中の割合で言うと、おっしゃるとおり、20代は結構低めで5%くらい、30代で10%、40代・50代ともに20%、60代・70代はそれぞれ10%強、それ以上は10%強となっています。若干20代が少ないかなというところではあるのですが、ほかの年代は10%以上となっており、世代としてはなんとなく満遍なくいらっしゃる把握しております。東郷町 LINE 公式アカウントを友だち登録している方は、今日時点で25,510人いらっしゃいます。以前、大々的にアンケートを行ったものとして、東郷町のエールチケットを昨年度と今年度と、皆さまのご自宅に届いているかと思うのですが、前回アンケートを行ったときの実績としては、回答数が6,559件でした。この数字を多いと見るか、少ないと見るかという話ではあると思いますが、ちなみに前回の検証会議の時はこのLINEアンケートはやっていなくて、他に代用したアンケートがありまして、住民意向調査をアンケートの参考にさせていただきました。住民意向調査ですと、郵送でのやり取り、紙でのやり取りをさせていただいております、それが2,000件に郵送で送らせていただいて、回答数が771件、回答率としては38%、全体の4割弱。そのアンケートに比べると、回答数としてはたくさん得られるかなという認識ではあります。回答率としては下がるとは思いますけれども。そんなところで、LINE でアンケートをやらせていただくというところです。

## 【座長】

問4ってちょっと難しくないですか。情報が十分か不足しているかの判断が難しいような気がします。不足しているものが別個にあれば別ですが。

**【事務局】**

先ほどおっしゃられた町民納涼まつりや子ども議会もイベントの一つでしょうし、そのようなイベントに参加したかったのに知る術がなくて、参加できなかった、見逃したということがあると、情報が不足しているという判断になるのかなというイメージでこの質問をしています。なので、自分がやりたいことや町がやっていることを知るうえで、いろんな媒体、例えば広報やホームページを普段見られている方は十分であるとか、普段見られている方でもまだ全然不足していると思われるかもしれないし、そういう観点での質問ではありますが、ちょっと読み取りづらいですかね。

**【委員】**

今の文言だと、量的・質的に十分かというよりは、ちゃんとお伝えしたいことが伝わっていますかという感覚ですよ。町民がちゃんとそれを活用できているかどうかみたいなイメージ。これだと量的な方とかに考えちゃうかもしれないですよ。

**【事務局】**

承知しました。そこは工夫させていただきます。

**【座長】**

他にありますか。何でもご自由をお願いします。

**【事務局】**

質問数でいうと、紙で書いても一緒なのかもしれませんが、一応こういったもので扱うにあたって、質問数が多いと途中で嫌になると思ったので、この質問数という形にしています。最後まで回答してもらえそうな工夫はさせていただいています。

**【座長】**

そうですね。途中でやめられてしまうと困りますよね。

**【委員】**

問4については、あなたにとって得ている情報は十分なものかどうかというのは、町から発信されている情報が十分なものかどうかというのは、これはこれで良いと思いますが、例えばそれを見過ごしたというときに、よくあるのは、自

治会の掲示板でよく分かったという人もいるし、色々頼りながらやればよいと思います。ただせっかく質問するなら、あなたの知りたい情報は何かについていうことも聞けると良いのかなと。東郷町の中のどういったことを知りたいんだろうって分かって良いのではないかなと思います。せっかくこれを出すのであれば、住民のニーズを知るというのも大事なかなと。

**【座長】**

どうですか。ほかに何かご意見は。

**【委員】**

問6ですが、自治基本条例のどの項目に関心があるかという内容ですが、私は今回このお話をいただいて、自治基本条例を読ませていただいたので、なんとなくどれが何を意味していて、どんな内容なのかというのはなんとなく分かるのですが、大抵の方は各項目についてなんとなく分かると思いますが、もしこれを見てどういう意味なんだろうと調べたいときに、一旦このアンケートを閉じて、ホームページに飛んで、自治基本条例を開いて、となったときに結構遠回りして見ないといけなくなるので、LINE アンケートの機能についてよく知らないのですが、もし機能的に可能なら URL を貼るとか、このページから自治基本条例に飛べるようなものがあると良いかなと思いました。

**【事務局】**

それは機能的にできるはずなので、対応させていただきます。

**【座長】**

このアンケートは完成したものはいつ実施されるのですか。

**【事務局】**

9月1日からスタートさせたいと思っています。

ここに QR コードがございますので、あとからこの QR コードを読み取っていただくと現時点でのアンケートの雰囲気をご体験していただけるかなと思います。

**【座長】**

では、他にご意見がなければ終了させていただこうと思います。

(委員の意見なし)

ありがとうございました。

それでは、本日の意見を踏まえまして、今後のまちの方針に活かさせていただく

ことをお願いして、本日の議事を終了させていただきたいと思います。  
それでは、進行を事務局へお返しします。

**【事務局】**

ありがとうございました。

今回いただきましたご意見と、LINE アンケートの集計結果を踏まえて、今後の町の見直し方針につきましてまとめさせていただき、次回の検証会議にてご意見を頂きたいと考えております。

なお、次回の検証会議については、10月頃を予定しておりますので、現時点で参加できない日時がございましたら会議終了後、事務局までご連絡いただくとありがたいのでよろしく願いいたします。

それでは最後に、企画政策部長よりご挨拶申し上げます。

**【事務局】**

神頭座長ありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から、ご意見、ご提案をいただきまして、本当にありがとうございました。

本来であれば、町長がお礼を申し上げるところですが、所用のため、代わって御礼申し上げます。

本日は長時間にわたり本当にありがとうございました。これをもちまして検証会議を閉会させていただきます。